

もくぞうあみだによりりゅうぞう

木造阿弥陀如来立像



■ 種別

有形文化財

彫刻

■ 指定年月日

平成元年 6 月 24 日

■ 所有者・管理者

さいぜんいん
西善院

(花和田 189)

鎌倉時代末期の作と思われる寄木造りの仏像です。西善院は慶長年間（1596～1615 年）村民名倉五郎左衛門の開基といわれ、『坂東観音霊場記』などの著者として有名な亮盛が一時住職を務めていたことがあり、師の名前を記した梵半鐘と過去帳が残されています。

像高 90 センチ／材質かや材